

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2016. 1. 12

下水道機構の『新技術情報』 第218号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>



今朝、東京では初雪が観測され、平年より9日遅く、昨年より29日遅い観測となったようです。全国的に寒気に覆われているようですね。読者のみなさま寒中お見舞い申し上げます。風邪など体調にはどうぞお気を付け下さいね!(^^)!

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第218号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・【新春特集】新年のごあいさつ 理事長 江藤 隆
- ・【新春特集】就任のごあいさつ 下水道新技術研究所長 岡久 宏史

■機構の動き

- ・今週は、1/14(木)に技術サロンを開催します

■Tea Break

- ・【新春特集】お正月について
(資源循環研究部 甘いもの大好きさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・【新春特集】今回は新春を祝って、富士山ドライブをお届けします

■国からの情報

- ・1/8付下水道ホットインフォメーション

—————。○○。

インフォメーション (最新の話です)

。○○。—————

●新年のごあいさつ 理事長 江藤 隆

新年明けましておめでとうございます。昨年中は、メルマガをご愛読頂き有り難うございました。今年も、メルマガをどうぞよろしく願いいたします。

今年「申（さる）」年です。

今年一年、自然災害やインフラ老朽化による事故などが「去（さ）る」、安全・安心な一年に成ることを願いたいと思います。

また、「申」は「呻（うめく）」の意味で、果実が成熟して固まって行く状態を表しているとされています。下水道事業を取り巻く課題も山積し、大変困難な時代を迎えていますが、昨年の下水道法改正や制度改正等を踏まえ、管理・運営の健全化が進んでいくことを願いたいと思います。

当機構も、公益財団法人として、国と地方、官と民、民と民の間の「技術の橋渡し」を通して、下水道事業の課題解決に貢献できるよう役職員一同力を尽くしていきたいと考えています。

読者の皆様の今年一年のご多幸を心よりお祈りしますとともに、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

●就任のごあいさつ 下水道新技術研究所長 岡久 宏史

1月より下水道新技術研究所長として勤務することになりました岡久です。

国土交通省下水道部長時代には、新下水道ビジョンを取りまとめ、下水道システムの適切な管理を持続させ、また、下水道をさらに進化させるためには官民連携が必須であることを提言しました。昨年12月に退社した積水化学工業では、主に管路の包括的民間委託と下水熱利用のビジネス化、海外への事業展開に携わりました。これからは官民連携の時代です。当機構の役割は、そのモットーである「技術の橋わたし」が端的に表しているように、官と民をつなぎ、下水道事業の抱える課題を解決し、社会に貢献することです。

官と民での経験を活かし、産学官の関係者の方々のご協力やご支援をいただきながら、時代を先取りしつつ、多くの課題の解決にスピード感をもって全力で取り組み、ハードのみならずソフトも含めた新たな技術の世界を拓きたいと考えています。よろしく願いいたします。

特に、業務の遂行にあたりましては、皆様のご意見を賜りたいものです。当機構のお近くにお越しの際にはぜひお立ち寄りいただければ幸甚です。

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●平成28年1月14日(木) 17:00~18:00

行 事：第344回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

ゲスト：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

町村下水道対策官 白崎 亮 氏

テーマ：『平成28年度下水道事業予算案について』

※お申し込みはこちら

⇒ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○日 時：平成 28 年 1 月 25 日(月) 13:00~16:45 (受付 12:30~)

行 事：第 63 回下水道新技術セミナー【大阪会場】

場 所：大阪市西区 大阪科学技術センター

テーマ：「下水道事業におけるアセットマネジメントと新たな事業計画について
(仮)」

※お申し込みはこちら

⇒ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-form-2>

○日 時：平成 28 年 1 月 29 日(月) 10:00~17:30

行 事：第 2 回審査証明委員会

場 所：機構 8 階 中会議室 特別会議室

案 件：平成 27 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の審議

○日 時：平成 28 年 2 月 2 日(火) 13:00~16:45 (受付 12:30~)

行 事：第 63 回下水道新技術セミナー【東京会場】

場 所：東京都港区 発明会館

テーマ：「下水道事業におけるアセットマネジメントと新たな事業計画について
(仮)」

※お申し込みはこちら

⇒ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-form-2>

○日 時：平成 28 年 2 月 10 日(水) 13:00~16:45 (受付 12:30~)

行 事：第 63 回下水道新技術セミナー【福岡会場】

場 所：福岡市博多区 A.R.K ビル

テーマ：「下水道事業におけるアセットマネジメントと新たな事業計画について
(仮)」

※お申し込みはこちら

⇒ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-form-2>

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●お正月について (資源循環研究部 甘いもの大好きさんからの投稿です)

新年あけましておめでとうございます。お正月休みも終わり、仕事が始まりもう 1 週間がたとうとしています。私は休み気分が抜けずに、四苦八苦しながら仕事をしています。

今回はお正月について少しお話ししたいと思います。「正月」とは 1 月の別称のこと、1 月を「睦月」と呼ぶのはお正月に一家が揃い睦みあう様子を表しているようです。

昔から元旦には「歳神様」という、新年の神様が各家庭に降臨し 1 年の幸福をもたらすとされており、年末の大掃除や、お正月の風物詩である門松、注連縄、鏡餅等は

歳神様を迎えるための準備の意味合いがあると年が明けてから知りました。

年末の大掃除はさぼり気味でしたが、お正月の由来を知ると面倒だと感じる大掃除が待ち遠しくなりました。今年は大掃除をきちんと行い、来年の元旦には気持ちよく歳神様をお迎えしたいと思います。

_____。○○。

まる子のゆいまーる（皆様との交流の場です）

。○○。_____

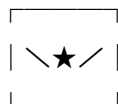
●今回は新春を祝って、富士山ドライブをお届けします

詳細はこちら⇒ <http://www.jiwet.or.jp/archives/yuimaru/2016-1-12>

*/**/*

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等はA 4版にして原則2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

*/**/*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2016.1.8 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀

=====

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

●「流域下水道 50 周年記念シンポジウム」（1 / 1 5 開催）のご案内【大阪府】

●BISTRO 下水道 他分野の専門誌等に掲載【国土交通省】

●Interaqua2016 第7 回国際水ソリューション総合展の開催（1 / 2 7）について【国土交通省】

●下水道分野で働く女性のマガジン「GJ Journal」創刊のお知らせ

【G K P（下水道広報プラットフォーム、事務局：（公社）日本下水道協会）】

- 平成 26 年度 公共用水域水質測定結果について【環境省、国土交通省】
- 「下水道新技術セミナー」を開催します（1/25 大阪、2/2 東京、2/10 福岡）【（公財）日本下水道新技術機構】
- Japan-YWP 第 6 回総会兼セミナー（1/30 開催）のお知らせ【Japan-YWP 運営委員会】

○国土交通省災害・防災情報（<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>）

=====

●「流域下水道 50 周年記念シンポジウム」のご案内【大阪府】

大阪府の流域下水道は、昭和 40 年の事業開始から今年度で 50 周年を迎えました。そこで、下水道ストックの有効活用を踏まえた将来の下水道行政のあり方等を考えること等を目的とし、「流域下水道 50 周年記念シンポジウム」を下記の通り開催します。シンポジウムの中では、国土交通省 塩路勝久下水道部長による記念講演もごさいます。

参加をご希望される方は、1 月 13 日（水）までに下記ウェブページよりお申し込みください。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

・「流域下水道 50 周年記念シンポジウム」の詳細、申込はこちら

→ http://www.pref.osaka.lg.jp/gesui_jigyo/50syunen/

「流域下水道 50 周年記念シンポジウム」

・主催：大阪府

・後援：国土交通省、大阪府下水道事業促進協議会、（一財）都市技術センター

・協力：日本グラウンドマンホール工業会

・日時：平成 28 年 1 月 15 日（金） 午後 1 時～4 時 35 分（受付開始：午前 11 時 30 分）

・場所：クレオ大阪中央 ホール（大阪市営地下鉄「四天王寺夕陽ヶ丘駅」徒歩 3 分）

・プログラム：

開会挨拶（大阪府知事 松井一郎）

新マンホールふたデザイン発表・表彰

事業紹介『流域下水道 50 年のあゆみ～50 年を彩った歌にのせて～』

記念講演『これまでの 50 年とこれからの下水道の展開～新下水道ビジョンをふまえて～』

パネルディスカッション『温故知新、ストックを活用した下水道の将来展望』

●BISTRO 下水道 他分野の専門誌等に掲載【国土交通省】

◇料理王国 2 月号

山形県鶴岡市で開催した第 8 回目の BISTRO 下水道推進戦略チーム会合の様子

（奥田政行シェフとミス日本「水の天使」柴田美奈さんがコラボした料理等の実演イベント）が料理王国 2 月号の 105 頁で紹介されました。

◇日本農業新聞（H28/1/5）

ビストロ下水道の一環としても取り組んでいる、平成 26 年度下水道技術研究開発公

募（GAIA プロジェクト）で採択された「下水処理水再利用による飼料用米栽培に関する研究（山形大学）」が、日本農業新聞（H28/1/5）で紹介されました。

●Interaqua2016 第7回国際水ソリューション総合展の開催について【国土交通省】

1月27日（水）～29日（金）、東京ビッグサイトにて、Interaqua2016 第7回国際水ソリューション総合展が開催されます。初日の1月27日（水）13:00～15:00には、展示会場内セミナー会場にて、雨水管理のスマート化戦略シンポジウム「変化する雨の姿と法制度～雨水管理の高度化を実現する施策と技術」（参加費：無料）と題して、

・加藤裕之流域管理官（国土交通省）による基調講演のほか、
・野崎高司主幹（埼玉県）、竹内徹也課長（横浜市）、酒井正道課長（富山市）、服部貴彦部長（日水コン）らによるパネルディスカッション「水防法改正の先に雨対策・現場のこれから」
が実施される予定です。事前参加登録など詳細につきましては、こちらをご参照ください

→ <http://www.interaqua.jp/>

●下水道分野で働く女性のマガジン「GJ Journal」創刊のお知らせ

【GKP（下水道広報プラットフォーム、事務局：（公社）日本下水道協会）】

GKPは、2016年1月7日に、GJリンク初の広報ツール「下水道分野で働く女性のマガジン GJ Journal（以下、GJ Journal）」を創刊しました。GJ Journalは、GKP内に、下水道分野で働く女性同士の繋がりを支援する場として設置されたGJリンクにて企画された広報ツールです。いわゆる公式の広報誌とは異なり、幅広い下水道利用者に下水道への理解を深めていただくために、GJリンクに参画するメンバー1人ひとりが下水道の広報官となり、下水道が秘める大きな力や魅力を女性の視点から伝えていきます。

《GJ Journal 概要》

- ・発行：概ね隔月で発行
- ・体裁：A4版
- ・流通形態：電子版をGKPホームページに掲載

<http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-journal.html>

- ・読者層：下水道利用者、下水道関係者、学生
- ・コンテンツ：私の下水道、地域別特集、GJのつぶやき、基礎データ、今月の一冊、GKP HOTNEWS、GJ Column等

《お問い合わせ先》

下水道広報プラットフォーム事務局

（公社）日本下水道協会 広報課

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-10-12 内神田すいすいビル

電話 03-6206-0205 FAX 03-6206-0265

●平成26年度 公共用水域水質測定結果について【環境省、国土交通省】

環境省は、水質汚濁防止法に基づき国及び地方公共団体が実施した平成26年度の

公共用水域の水質測定結果を公表しました。生活環境の保全に関する環境基準は、河川においてはほとんどの水域で達成している一方、湖沼では環境基準を達成しているのは半分程度の水域となっており、海域の環境基準達成率は8割程度となっています。

・記者発表資料：<http://www.env.go.jp/press/101835.html>

・詳細データ：<http://www.env.go.jp/water/suiiki/index.html>

河川、湖沼における水質改善の上位水域も公表されています（参考資料 p.57）。

下水道の普及及び高度処理等の寄与が想定される場合には、下水道管理者においても、効果の積極的なPRをお願いします。

●「下水道新技術セミナー」を開催します（1/25 大阪、2/2 東京、2/10 福岡）【(公財)日本下水道新技術機構】

「下水道事業におけるアセットマネジメントと新たな事業計画」をテーマに、第63回下水道新技術セミナーを1月25日（月）大阪市西区大阪科学技術センター、2月2日（火）東京都港区発明会館、2月10日（水）福岡市博多区A.R.Kビル（いずれも13:00～16:40）にて開催します。

セミナーの内容は、国土交通省下水道部下水道事業課本田企画専門官による「改正下水道法に基づく維持修繕計画と新たな事業計画」についての特別講演のほか、これまでアセットマネジメント・ストックマネジメントに先進的に取り組んでいる仙台市（大阪・東京会場）、静岡市より「下水道アセットマネジメントの取り組み」について、横浜市（福岡会場）より「横浜市の下水道長期戦略」についての事例紹介、また、下水道機構の関連調査研究について報告いたします。開催場所もこれまで東京、大阪の2会場でしたが、今回は福岡でも開催することといたしましたので奮ってご参加ください。なお、土木学会の継続教育（CPD）プログラムにも認定されていますのでご活用ください。

申し込みは、当機構ホームページからWeb申し込みをお願いします。

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

●Japan-YWP 第6回総会兼セミナーのお知らせ【Japan-YWP 運営委員会】

Japan-YWPは、上下水道・水環境に関連する分野の学術的研究・知識の普及・水環境保全への積極的な貢献を目的とした若手中心の組織です。中央省庁、自治体、研究機関、企業に所属する水関連の若手が広く集まることで、分野・職種間の交流を促進しております。活動の詳細はHPをご覧ください。

Japan-YWP HP：<http://www.japan-ywp.net/>

今月、2016年1月30日（土）にJapan-YWP第6回総会兼セミナーを都内にて開催いたします。例年通り、本年度の活動実績と来年度の予定をご報告するとともに、セミナーを開催いたします。今年の基調講演者は、先般水道料金値上げに関するレポートを共同でいただきました新日本監査法人の福田健一郎氏です。一般講演では、Japan-YWP会員らから、今ホットなトピックについてお話いただく予定です。さらに、会員同士の交流のためのネットワーキングセッションの機会もございます。

・日時：2016年1月30日（土）13:30～17:30

・場所：日本水道協会7階 第1-3会議室（市ヶ谷駅より徒歩3分）

http://www.jwwa.or.jp/annai/map_honbu.html

- ・言語：日本語
- ・費用：不要
- ・服装：普段着でお集まりください。
- ・懇親会：総会終了後に懇親会を開催予定（会費 2,000 円程度）
- ・プログラム

1) 総会（活動報告：国立保健医療科学院 Japan-YWP 代表 岸田 直裕）（13:30-14:00）

2) セミナー

基調講演（14:00-15:00）

福田 健一郎（新日本有限責任監査法人インフラストラクチャー・アドバイザー
ーグループマネージャー）「上下水道事業の経営・料金・官民連携の状況について」

ー休憩 10 分ー

一般講演（15:10-16:25, 各 25 分）

柳田 貴広（環境省水・大気環境局水環境課 課長補佐）

「水環境行政の現状と今後の課題 ～水質環境基準の見直しの動向等～」

三浦 尚之（東北大学未来科学技術共同研究センター 准教授）

「フランスの実規模 MBR における胃腸炎ウイルス除去」

加藤 純子（プロジェクト WET ファシリテーター）

「水の世界を見える化する～水環境教育・プロジェクト WET」

ー休憩 10 分ー

3) ネットワーキングセッション（16:35-17:25）

4) 閉会の挨拶（17:25-17:30）

・申し込み方法：所属、氏名、懇親会への出欠の有無を明記の上、メールタイトルを「Japan-YWP 第 6 回総会兼セミナー参加登録」として、onodera.takashi@nies.go.jp までお申し込みください。2016 年 1 月 21 日（木）を締め切りとします。総会への当日参加も歓迎いたしますが、懇親会への参加を希望される方は、事前登録をお願いします。

非会員の方につきましては、参加申し込み時に入会登録いたしますので、生年月日、E-mail アドレス、専門分野も併せてご連絡いただきますようお願いいたします。

入会・年会費等は無料です。なお、会員登録は HP で行って頂くことも可能です。

・問合せ先：国立環境研究所 小野寺 崇 <onodera.takashi@nies.go.jp>

=====

◆藻類産業集積へ学官連携 佐賀市、佐賀・筑波大と共同研究 <1/6 日本経済新聞>

<http://www.nikkei.com/article/DGXLZ095794010V00C16A1LX0000/>

◆「ちゃちゃまる」足元で池田PR マンホールのふたに <12/28 岐阜新聞>

http://www.gifu-np.co.jp/news/kennai/20151229/201512290822_26411.shtml

◆下水道管の老朽化加速 相次ぐ道路陥没 <12/27 大阪日日新聞>

<http://www.nnn.co.jp/dainichi/news/151227/20151227024.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20151030/>
